

(株)MMC State examination2022-1 組織

組織(人事を含む)を中心とした経営の戦略および管理に関する事例

2022年(令和4年)中小企業の診断および助言に関する実務の事例I : 解答用紙(暫定版 2022/10/31)

各設問の配点: 第4問(設問1)・(設問2)は各20点です。

解答用紙の添削コメント等の著作権は(株)MMCに帰属します。許可無く一切の転用・転載・公開を禁じます。

再現答案、初回をチェックして下さい。

再現答案 初回

(株)MMC State examination2022-1 組織

※答案の提出締切は、MMC受講生ページ (<http://www.mmc-web.net/mypage.html>) をご参照下さい。

受験番号(楷書で丁寧に書きください)	イニシャル

採点欄
60

【有機JASとJGAP(農業生産工程管理)の認証を受けた】というヒントを活かし、「生産管理能力」を強みとして書けると更に良かったですね。

第1問(配点20点)

13

強みは、①作り方にこだわった野菜の栽培方法、百貨店から引合のある商品力、②地域の特産品としてブランド力、である。弱みは、①従業員間での明確な役割分担不足、②供給調整の問題が生じていること、である。

定着率を高めるための施策Goodです。

人的資源管理と組織構造の視点で解答出来ていますね。

あとは、少し一般論に見える箇所があるので、

第2問(配点20点) もう少し与件文を活用したいですね。

10

施策は、①定時退社や突発的な対応もできる様な柔軟な勤務形態の導入、②地域の農業関係者と会合で交流し、③未経験者に対しての丁寧な研修を実施、④適正な配置、公正な評価、⑤成果主義賃金制度、でモラル向上である。

ヒントが少なく非常に難しい問題でした。

80分の中で需要と共同開発を結び付けるのは難しいかと思います。

今回は「共同開発」や「連携」などの協力を想起させる

第3問(配点20点) キーワードが使用出来ていれば宜しいかと思います。

13

A社は、①大手や食業者との取引を通じて、対応能力を蓄積することができ、安定的な収益をもたらすための、良好な関係を築くべきであり、②売上を依存していることから依存度を下げ、共同開発等の対等な関係を築く。

組織構造の記述Goodです。

事業部制組織・機能別組織のどちらを記述していても

事例文中のヒントを活用していれば、点数は入るかと思います。

第4問(配点40点)

(設問1)

12

A社は、直営店や食品加工分野を独立させ、利益責任を明確にした事業部制の組織構造を構築すべきである。

権限委譲と人員配置の切り分けGoodです。

設問をしっかりと解釈し、題意に沿った記述になっております。

(設問2) キーワードの使い方もGoodです。

12

A社は、①若手従業員に対し、店舗マネジメントや商品開発、サービスの権限を順に権限委譲を行い、②生産等の従業員の兼任と専任体制とし、繁閑に応じて人員を流動的に人員配置することにより組織活性化を図る。

まずは、本試験と再現答案の作成、お疲れ様でした。

本試験では、緊張の中で思ったような答案が書けなかったかもしれません。

しかし、周りの受講生も同じ状況だったと思います。

その為、本試験では更なる加点も十分に期待出来ると考えております。

合格発表まであと少しですが、発表後の口述対策に慌てないように、

口述の準備も少しずつ取り組んで頂ければと思います。